

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2・3	散歩での挨拶や地元からの食材購入など日常的な交流は行っており、保育園交流など実施しているが、この1年間で新たに施設に立ち寄れるようになった方は殆どいらっしゃらない。	誰でも気軽に立ち寄れる施設を目指す。ここにくれば皆に会える、気軽に世間話をする事が出来、笑顔でまた来るねと挨拶をかわせる施設を目指す。	散歩での挨拶や地元からの食材購入など日常的な交流は継続し、地域交流の土台とする。近隣の方々に施設の顔が見れるような働きかけを行いたい。また、新たに来所して頂けるボランティアの方を探す。	12ヶ月
2	13・14	職員の自発的な研修参加(外部・内部問わず)の意欲が上がってきているが、人員不足により研修参加日を設けることが難しくなっていることや参加したいと思える研修のマッチングが出来ていない。	人員を補充し、職員が望む研修を受講できる体制を整える。職員がいま何に興味を持ち、どのようにスキルアップを図りたいか把握し、それに適した研修を提示する。	まずは十分な人員補充を行い、研修参加日を設けることから始める。そして、職員の望む研修を把握し定時を行い、各職員に技量に合わせた研修に参加してもらおう。自研修報告書を提出し業務にフィードバックすることで研究受講日は出勤扱いとする取組は継続する。	6ヶ月
3	20	入居されてしまうと在宅時にあった交流や馴染みの方々との関係性が薄まってしまう。又、退去された御家族との交流は出来るだけ持とうとするものの、全ての方と交流できておらず、年々減少傾向にある。	軽に立ち寄れる施設を目指し、入居者様が外部とのつながりを断ち切らないような関係性の構築。退去者の方との交流の継続。	入居者様から馴染みの地名や人名が挙がった時は職員で共有しご家族に伝え、お好み外出の機会を設けたり、手紙や電話を用いて連絡をしていただけるかどうか検討していただくなどの取り組みをおこなう。退去後であってもイベントのご連絡やお手紙を郵送するなど関係性を維持する。	6ヶ月
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。